

産業振興, 観光 + 歴史



稲見一貴・姫氏原慎也・坂巻巧・須藤ゆき
田代優奈・馬場優樹・前田大知
TA 田中皓大

1

土浦の工業

2

土浦の工業

製造品出荷額等（2016年）

茨城県	11兆2088億円	8位（全国）
土浦市	6455億円	5位（茨城県内）

土浦市の製造品出荷額等は
全国的に見て上位

土浦の工業

年	事業所数	従業員数	製造品出荷額等（億円）
2010	168	12570	6045.7
2011	195	11840	6518.1
2012	173	14839	6854.3
2013	163	13674	6692.9
2014	175	13814	6066.2
2015	183	13912	7784.6
2016	152	12753	6454.5

上昇や減少の傾向はみられず安定

4

土浦の工業

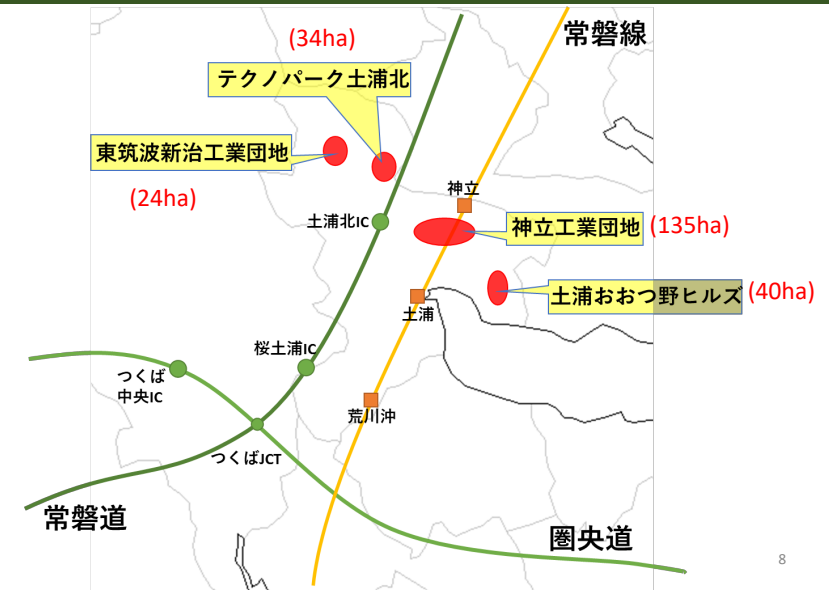
2017年 茨城県内全区間で
圏央道が開通



関東を縦に走る常磐道と
横に走る圏央道が
工業立地のメリット

5

土浦の工業



8

土浦の工業

圏央道開通による
交通上のメリット

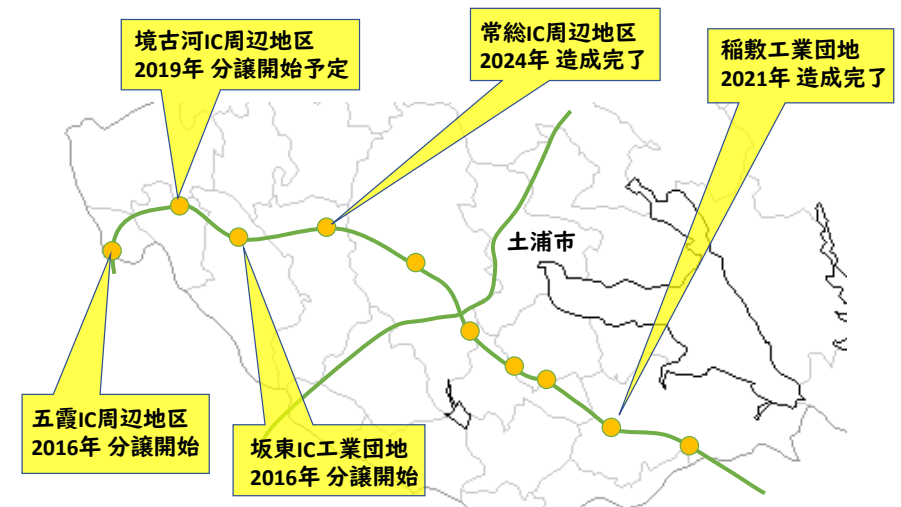


圏央道沿線の都市では
新たな工業団地の造成・分譲
製造品出荷額が増加

7

土浦の工業

周辺市町村での受け入れ態勢



土浦の工業

一方で土浦市では・・・

名 称	土浦・千代田工業団地	テクノパーク土浦北	東筑波新治工業団地	おおつ野ヒルズ
所在地	土浦市東中貫・かすみがうら市上稲吉	土浦市紫ヶ丘	土浦市沢辺	土浦市おおつ野
団地面積	168.7ha	41.7ha	35.3ha	99.5 ha
工場用地面積	134.7ha	34.4ha	24.4ha	39.5 ha
立地企業	48社	12社	15社	4社
分譲面積	—	—	—	7.8ha (3区画)

12

土浦の工業 まとめ

一方で土浦市では・・・

工業団地の多くが分譲完了
現状企業誘致の余地があまりない



新たな工業用地の開発？

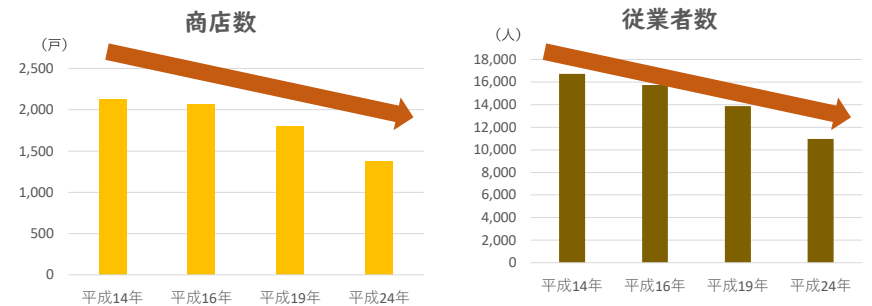
(3区画)

12

土浦の商業

11

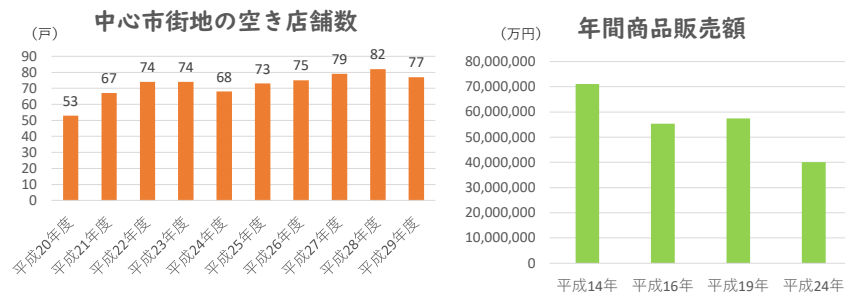
土浦の商業



商店数、従業者数ともに減少

12

土浦の商業



空き店舗数は増加、
年間商品販売額は減少傾向に

13

土浦の商業

データを見ると土浦の商業は衰退しているように見える

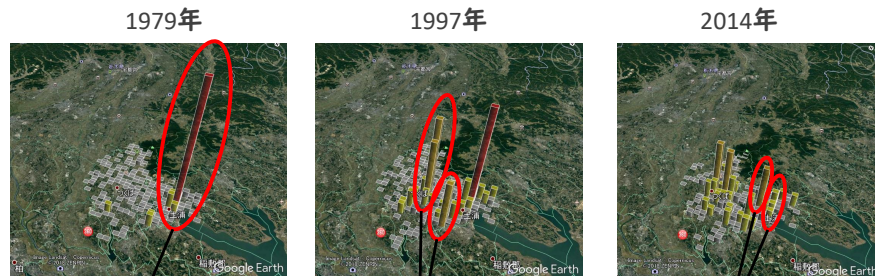
市全体が衰退しているのか？

衰退の要因は
何なのか？

14

土浦の商業

土浦・つくばの販売額分布の経年変化
(都市構造可視化計画より)



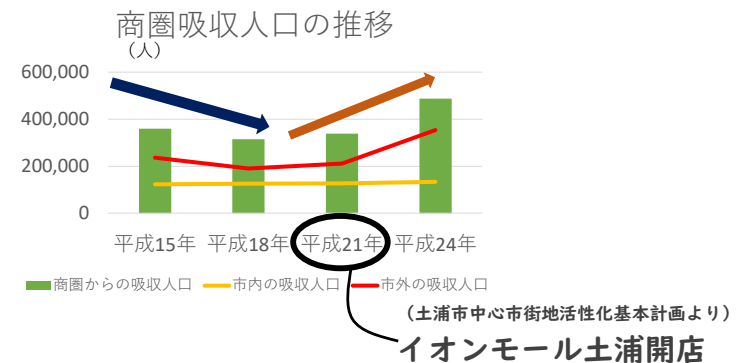
土浦一強

つくば・荒川沖
の発展

大型ショッピング
センターの登場と
駅周辺の衰退

15

土浦の商業



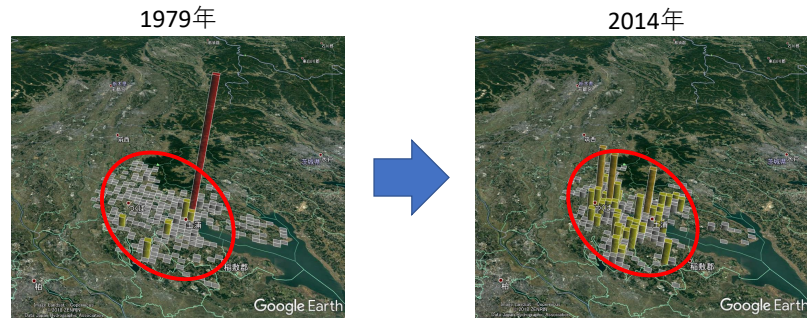
イオンモール土浦の影響で吸収人口増加

16

土浦の商業

土浦市周辺地域における販売額分布の推移

(土浦・つくば・かすみがうら・牛久・阿見町)



大型ショッピングセンター・ロードサイドショップによる商業の郊外化

17

土浦の商業 まとめ

つくば・荒川沖など
周辺地域の発展

商業の郊外化

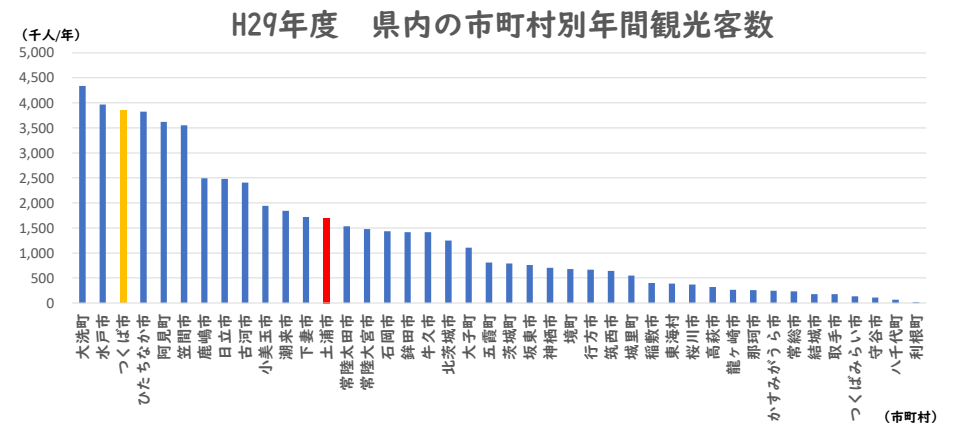
中心地の衰退

18

土浦の観光

19

データでみる土浦の観光の現状



茨城県内での比較でもそれ程高くない
→土浦市は観光地として確立していない

20

観光地の立地条件

既存研究（小松原尚（2009））によると…

日本国民の7割以上に当たる都市での生活者は、山間地域に対して、自らの日常生活とは異なった自然環境の中での休息や様々な体験活動への期待が大きい。



都市集積の利益の波及効果をどこまで山間地域において吸収できるか

山岳と水辺の
観光利用

誰もが楽しめる
イベントの開催

I. 自然資源

山岳の観光利用～筑波山麓～

自然が豊富

- ・朝日展望公園
- ・小町山



様々な体験

- ・パラグライダー
- ・そば打ち体験



水辺の観光利用～霞ヶ浦～

様々なレジャー

- ・遊覧船
- ・クルージング
- ・観光帆引き船
- ・釣り場 etc



自然が豊富

- ・魚（ワカサギ、コイ）
- ・野鳥
- ・水生植物 etc



周辺施設

- ・霞ヶ浦総合公園
- ・土浦港



水辺の観光利用～霞ヶ浦～

平成29年 年間利用者数



水辺と山岳の観光利用

霞ヶ浦、筑波山麓など自然資源は豊富にある

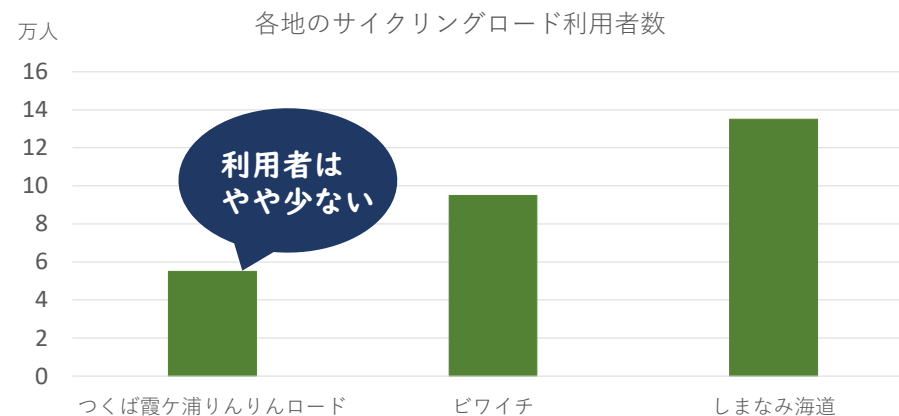
観光資源として
活かしきれていない

自然観光資源を活かしたサイクルツーリズム



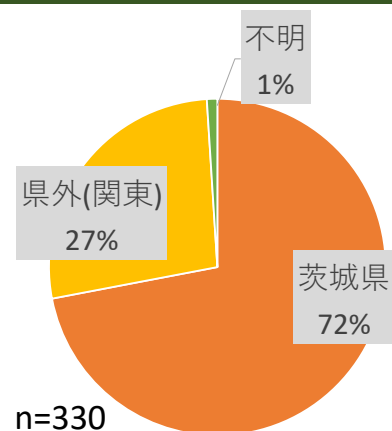
サイクリングによって
自然観光資源を活用できる可能性

利用者比較



利用者は増加傾向にあるが、
他の地域と比べると少ない現状にある

つくば霞ヶ浦りんりんロードサイクリストの居住地



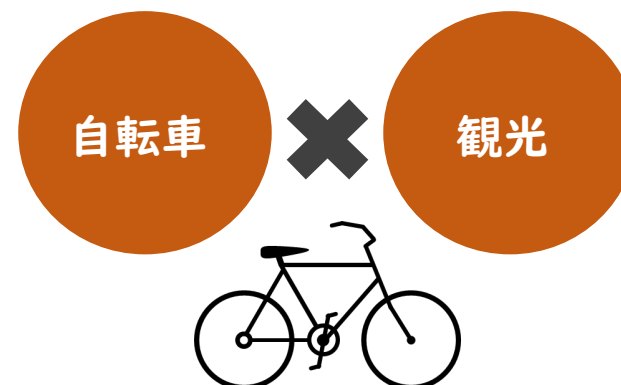
[出典]水郷筑波サイクリングコース利用者アンケート調査 (H27)

県内の利用者が多い



県外からの利用者、つまり観光目的の利用者は少ないのではないかと

土浦市が目指す将来の姿



地域の豊かな自然や食、人とのふれあいなどをサイクリングと併せて楽しむことができる地域

30

将来の姿に向けて

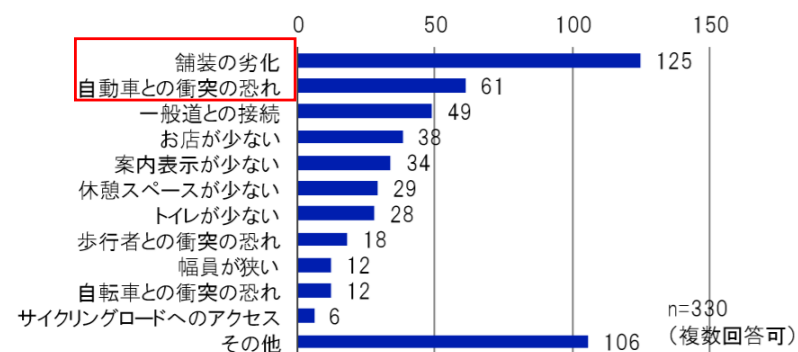
課題

水郷筑波サイクリング環境総合整備計画により

- ・サイクリスト向けサービスの充実
- ・サイクリングを通じた地域の魅力発信
- ・走行空間の回遊性や安全性の向上

走行空間の回遊性や安全性の向上

[出典] (仮称) 水郷筑波サイクリングコース利用者アンケート調査



舗装の劣化、自動車との衝突の恐れ等安全面の指摘が多い

将来の姿に向けて

課題

水郷筑波サイクリング環境総合整備計画により

- ・サイクリスト向けサービスの充実
- ・サイクリングを通じた地域の魅力発信
- ・走行空間の回遊性や安全性の向上



2. イベント

土浦市の三大イベント

土浦全国花火競技大会

日時：10月第1土曜日

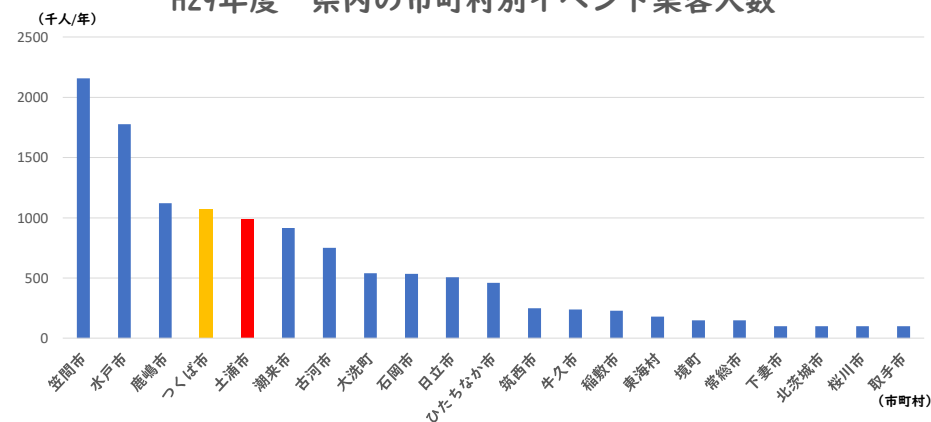
来場者数：約71万5千人

全国的に有名な花火大会



データでみる土浦の観光の現状

H29年度 県内の市町村別イベント集客人数

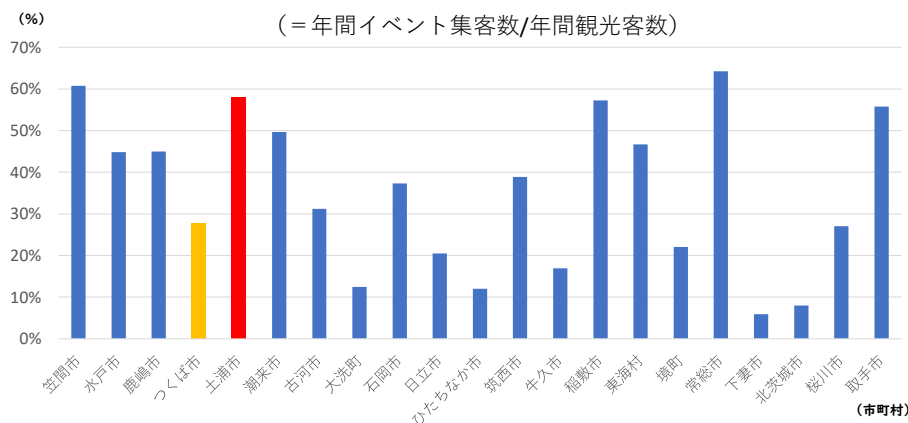


土浦市のイベント集客数は県内第5位
つくば市と大きな差はみられない

データでみる土浦の観光の現状

観光客数に占めるイベント観光客の割合

(=年間イベント集客数/年間観光客数)

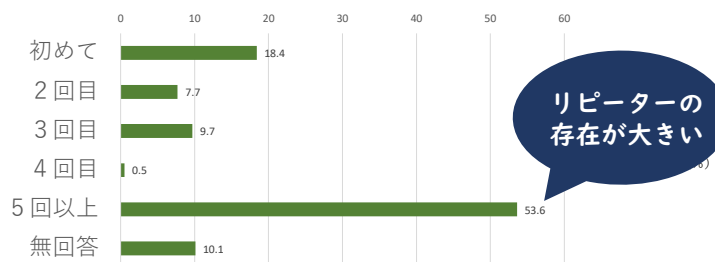


土浦市の観光集客はイベント客に依存している

37

データでみる土浦の観光の現状

土浦市への来訪回数（単数回答） n = 207



リピーターの存在が大きい

ほとんどが土浦花火大会のリピーターであることが予想される

38

3. その他（歴史）

土浦の城下町



大徳

観光案内
観光土産品の販売



野村

そば打ち体験
多目的工房

城下町としての認知度向上につながるもの



聞き取り調査

観光まとめ

山岳と水辺の 観光利用

- ・霞ヶ浦のレジャー活用
- ・サイクリングを通じた地域の魅力発信
- ・走行空間の回遊性や安全性の向上

誰もが楽しめる イベントの開催

- ・イベントの集客力は高い
- ・一方で花火大会以外の集客は弱い

歴史の活用

- ・城下町単独では観光として活用しづらい
- ・他の観光資源と絡めて活用

土浦市役所都市産業部商工観光課観光物産係

土浦市役所へのヒアリング(2018.10.26)

調査日	10月26日(金) 9:00~
対象者	土浦市商工観光課
場所	土浦市役所 3階

質問項目

- ・施設ごとの入込客数
- ・土浦市内の観光における最近の動向
- ・土浦市が推している観光事業
- ・今後の方向性

土浦市が考える課題

- ・ 通年の観光客が少ない
- ・ 各観光地での意識が低い
- ・ 情報がまとまっていない



考察

- ① サイクルツーリズムなどを積極的に活用して通年の観光客を増やす
→ 「イベントは盛んだが、通年の観光客が少ないことが課題」
～市役所のヒアリングより～
- ② 土浦市の観光の強みであるイベント観光客数を更に増やす

今後もイベント観光客を増やしていくことは勿論
自然観光・サイクリング・歴史観光といった
イベント以外の観光客数も増やしていく

まとめ

工業

耕作放棄地の利用も視野に入れ、新たな工業用地を開発することで企業誘致の余地を生み出す

商業

つくば、荒川沖など周辺地域の発展、商業の郊外化による中心地の衰退が深刻

観光

イベント集客を更に増やしていくとともに、霞ヶ浦やサイクリング、歴史観光などの地域資源の活用を考える